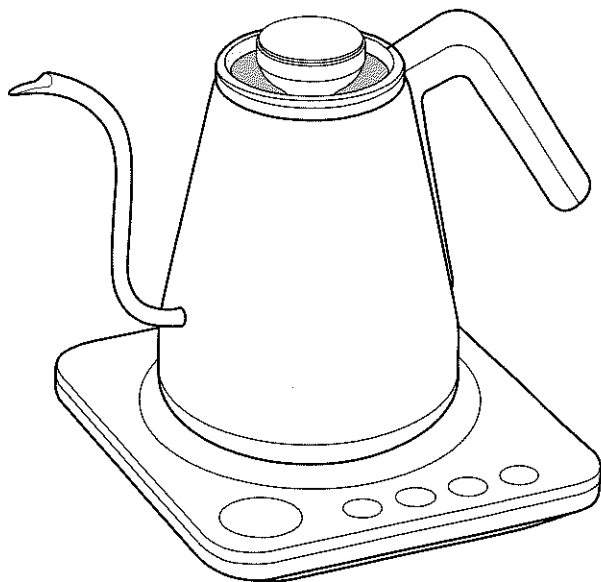


温調ドリップケトル



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	4
ご使用上の注意	5
使い方	
「沸騰モード」100°Cのお湯を沸かす	6
「温度設定モード」設定した温度でお湯を沸かす	8
「保温モード」設定温度に加熱した後、保温する	9
お手入れについて	11
仕様	12
故障かな?と思ったら	13
保証とアフターサービス	14
保証書	15

取扱説明書

保証書付

HX-1129H-BK

家庭用

HX-1129H-GN

HX-1129H-WH

この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
- ・この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。

安全上のご注意

- ご使用前に安全上のご注意をよくお読みいただき、必ずお守りください。
- 人身への危害や財産の損害を防止するため、必ずご注意ください。
- また、誤った使い方によって生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分し、ご説明しています。



警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。



注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれのある内容です。



警告 してはいけない「禁止」内容です。



注意 必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

改造や分解、修理は絶対にしないでください。

火災、異常動作してケガの原因

電源プラグやコードに異常がある場合は、使用しないでください。

火災、故障の原因



濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。

感電の原因

電源プラグ、電源コード、ケトルおよびそのベースは決して水またはその他の液体に浸さないでください。

火災や電気ショック、ケガの原因

本機動作中にフタを開けることはお避けください。

湯が溢れ出し、やけど、ケガの原因

安全上のご注意

警告

水を入れる際はMAX線を超えないでください。

湯が溢れ出し、やけど、ケガの原因

水以外のものを沸かさないでください。

湯が溢れ出しの原因

電源コネクタ部分に金属製クリップなどの異物を接触させないでください。

感電、ショート、火災の原因



ガス火にかけたり、電気ヒーター・電磁調理器・電子レンジなどで使用しないでください。

火災、変形、故障の原因

水漏れが発生した場合は使用しないでください。

感電、ショート、火災の原因

子供手の届くところに置かない、使用させないでください。

ケガや感電の原因

注意

熱いお湯や液体を注ぎ込む際は、やけどの危険があるため、十分に注意してください。

ケガの原因



電源を切る際は、必ず電源を切ってからプラグを抜いてください。

火災、故障の原因

安全上のご注意

⚠ 注意

清掃やメンテナンスを行う際は、必ず電源を切ってから行ってください。

感電の原因

使用しない場合は、必ず電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

火災、感電の原因

製品を乾いた水平面に置いて使用してください。

ケガ、破裂、故障の原因

電源コンセントは他の機器と共有せず、単独でご使用ください。

故障の原因

電源プラグはしっかり根元まで差し込んでください。

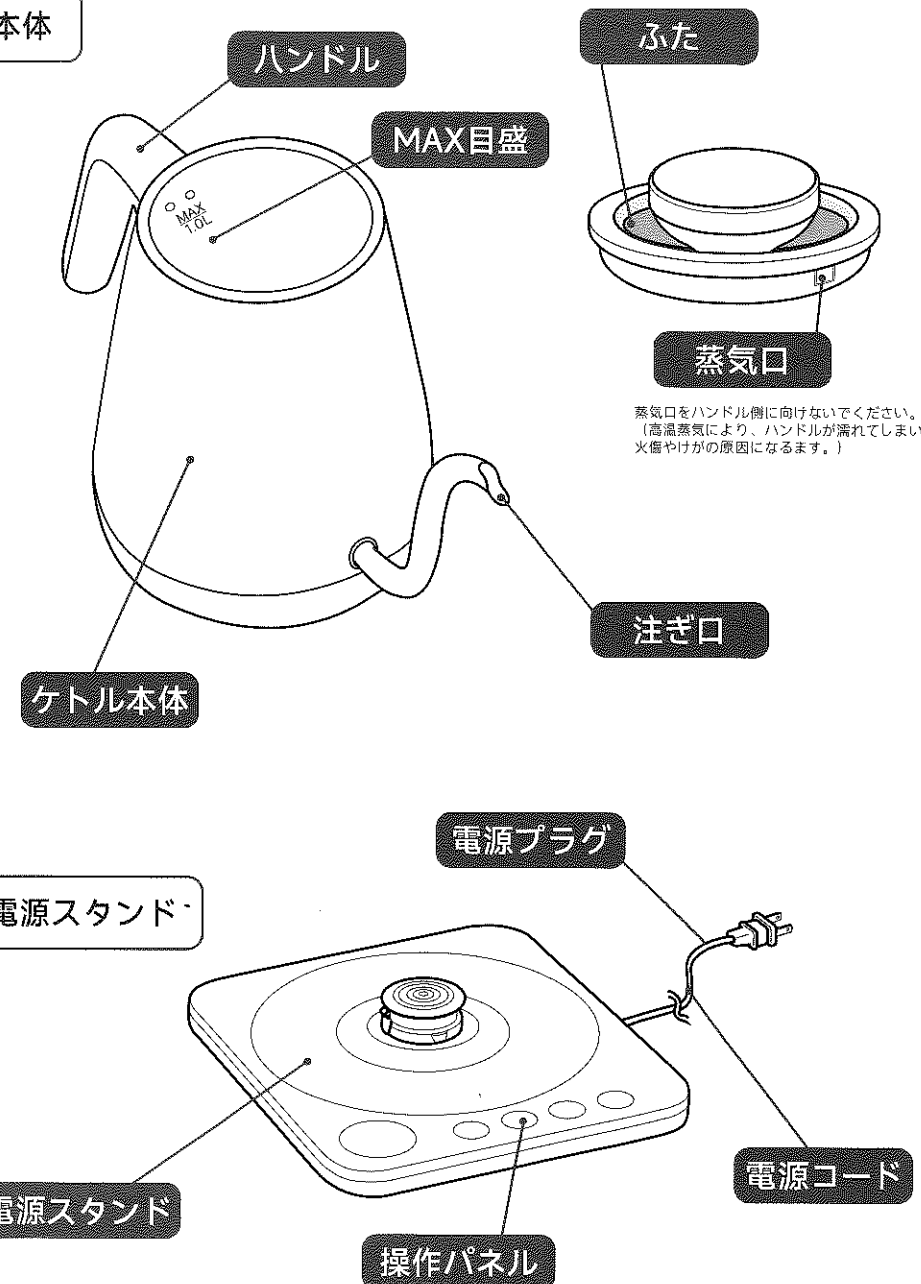
火災や感電の原因

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。

故障の原因

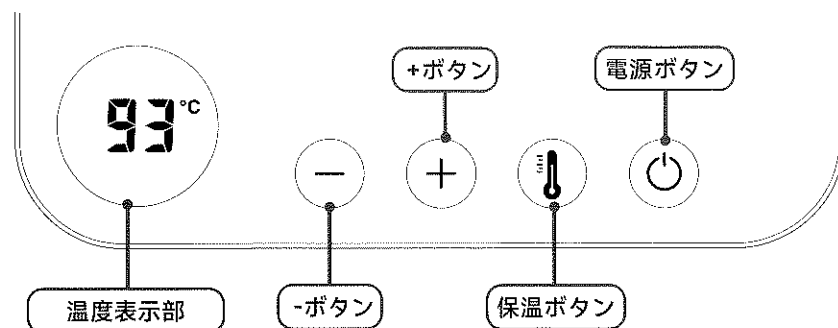
各部のなまえ

本体



蒸気口をハンドル側に向けないでください。
〔高温蒸気により、ハンドルが濡れてしまい、火傷やけがの原因になります。〕

各部のなまえ



温度表示部

「沸騰モード」：100°と現在の水温を切り替え表示されます。
「保温モード」：設定温度のみが表示されます。
「温度設定モード」：設定温度と現在の水温を切り替え表示されます。



+/-ボタン

+/-ボタンを押すと温度設定モードに切り替わり、好みの温度に設定することができます。
具体的な操作方法について、8ページをご覧ください。



保温ボタン

設定温度を達した前に保温を設定することができます。
具体的な操作方法については、9ページをご覧ください。



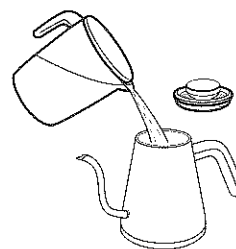
電源ボタン

電源ボタンを1-2秒を長押しして、電源をONします。
電源ボタンを短押しして、電源をOFFします。
※電源を入れた後、4~5秒以内に温度設定ボタンを操作しない場合、沸騰モードが自動的に開始されます。

ご使用上の注意

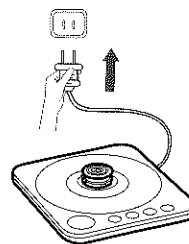
初めて使用するとき、300ml~1000mlの範囲内で水を入れてP6~P7「使い方」の要領で2~3回沸騰させて、お湯を捨ててください。

「沸騰モード」100°Cのお湯を沸かす



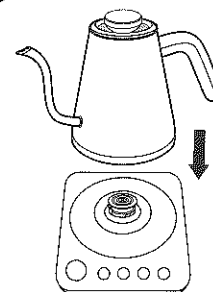
1 フタを開けて、本体に水を入れる

- ◆ 300ml~1000mlの範囲内で水を入れてください。
- ◆ 水以外のものを沸かさないでください。
- ◆ 電源スタンドに乗せたままケトル本体に水を入れしないでください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ◆ 電源スタンドは乾いた水平面に置いて使用してください。
- ◆ 電源は、交流100V、定格15Aのコンセントを単独で使ってください。
- ◆ コンセントが確実に差し込まれていることを確認してください。（火災や感電の原因になります。）
- ◆ 電源を入れると、操作パネルの全てのライトが約1秒間点灯した後、すぐに消えてスタンバイ状態になります。

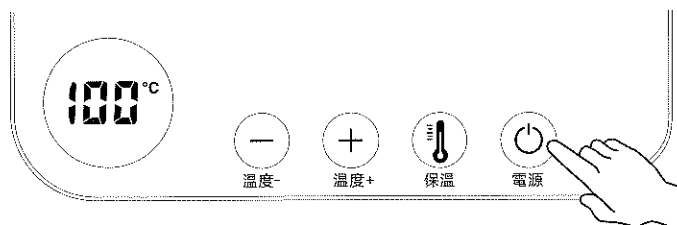


3 フタを閉めて、本体を電源スタンドの上のせる

- ◆ 電源スタンド接続部がぬれていないことを確認してからおせしてください。（感電・ショート・故障の原因になります。）
- ◆ 蒸気口をハンドル側に向けしないでください。（高温蒸気により、ハンドルが濡れてしまい、火傷やけがの原因になります。）

「沸騰モード」100℃のお湯を沸かす

4 電源ボタンを1-2秒を長押しして、電源を入れる



- ◆ 4-5秒後に自動的に沸騰モードで湯沸かしを開始します。(+/- ボタンを押さないでください。)
- ◆ 温度を設定する場合は、 +/- ボタンを押して温度を調整してください。具体的な操作方法については、8ページにある「温度設定モード」を参照してください。

ケトルを加熱中に電源スタンドから取り外した場合、2分以内に本体を戻せば加熱が継続します。ただし、2分以上離れていると、電源が自動的に切れます。

5 沸騰したら、お湯を注ぐ

- ◆ 沸騰したときに『B-B』という音が鳴り、沸騰モードが終了します。その後、ケトル本体を電源スタンドから持ち上げて、お湯を注ぎます。
- ◆ 加熱中は100°と現在の水温を切り替え表示されます。
- ◆ 沸騰モードが終了後、温度表示部に現在の水温表示されます。

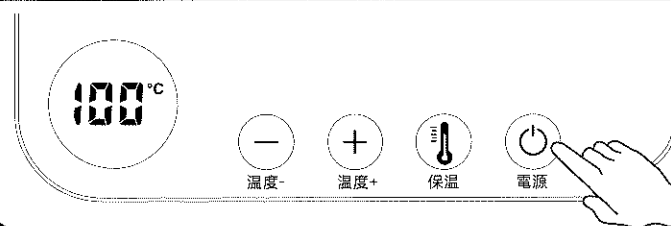


設定温度を達した前に、保温ボタンを押して保温設定状態になります。保温機能使用したい場合は、9ページをご参考ください。

「温度設定モード」設定した温度でお湯を沸かす

- 「沸騰モード」の手順1~3まで (6ページ) 行ってください。

4 電源ボタンを1-2秒長押しして、電源を入れる



ケトルを加熱中に電源スタンドから取り外した場合、2分以内に本体を戻せば加熱が継続します。ただし、2分以上離れていると、電源が自動的に切れます。

5 +/- ボタンを押して、好みの温度に設定する

- ◆ 電源ON後、5秒間以内に +/- ボタンを押すと「B-」と音が鳴り、温度設定モードに切り替わります。
- ◆ +/- ボタンを押すたびに、温度表示部が点滅し、1°Cずつ温度調整ができます。ボタンを長押しすると早送りになります。
- ◆ 温度設定後、3秒間放置すると設定が確定され、加熱を開始します。
- ◆ ケトル内部の水温より低い温度での湯沸かしはできません。

設定温度を達した前に、保温ボタンを押して保温設定状態になります。保温機能使用したい場合は、9ページをご参考ください。

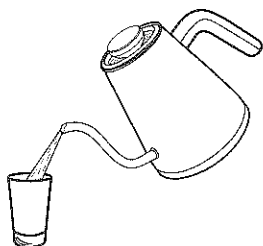
「温度設定モード」設定した温度でお湯を沸かす

6

設定温度を達したしたら、お湯を注ぐ

- ◆ 加熱完了すると「B-B」と音が鳴り、スタンバイ状態になります。

【スタンバイ状態】とは、電源を再起動する時、前回設定した温度が自動的に設定されるという機能です。
※コンセントをぬいてから再度電源オンになると、100°Cリセットできます。



「保温モード」設定温度に加熱した後、保温する

沸騰温度(100°C)を保温したい

- 電源をオンになり保温ボタンを押します。
- 保温ボタンをタッチするとボタンが点灯し、パネルに表示されている温度(100°C)で保温を行います。30分間の保温が終わると自動的に電源オフになります。



設定温度を保温したい

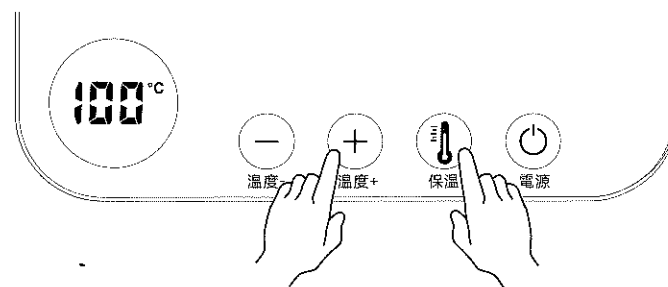
- 電源をオンになり「+/-」ボタンをタッチすると、お好みの保温温度を設定できます。
- 保温ボタンを押してボタンが点滅し、保温設定状態になり温度設定後、3秒間に放置すると設定が確定され、保温機能が開始します。30分間の保温が終わると自動的に電源オフになります。

ケトルを保温中に電源スタンドから2分以上離すと、30分間の保温時間が自動的に終了します。

「お知らせモード」

こんな時は	お知らせ音
電源ボタンと保温ボタンを押す	「B-」鳴る
加熱完了	「B-B」鳴る
30分で操作しない	「B-B-B」鳴る
保温中にケトル本体を電源プレートから2分以上離れた	「B-B-B」鳴る

- 温度設定ボタン「+」と保温ボタンを同時にブザーが「B-」と1回鳴るまで押し続けてください。お知らせ音は完全にオン/オフになります。



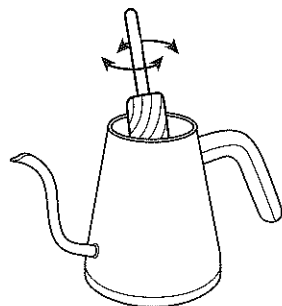
お手入れについて

ご注意:

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷めてから行ってください。
- 住宅用洗剤やシンナー、漂白剤、化学でうきんなど洗剤は使用しないでください。
- 固いたわし、研磨剤などの使用はキズの原因になることがあるためおやめください。
- 電気ケトル本体と電源プレートの丸洗いは絶対にしないでください。
- 食器洗浄機や食器乾燥機を使用しないでください。

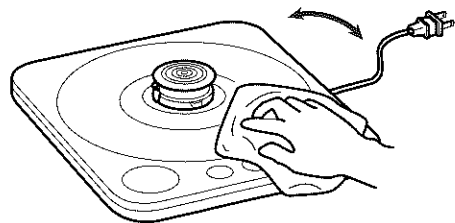
本体内側のお手入れ

水でよくすすぎ、柔らかい布でから拭きをします。



本体外側と電源プレートのお手入れ

水を少し浸し、固く絞った柔らかい布でから拭きをします。汚れのひどい時は水で薄めた台所用中性洗剤を溶かした布で汚れを拭き取り、そのあと固く絞った柔らかい布でから拭きをします。



お手入れについて

水垢がある場合のお手入れ方法

本体内側に錆のような赤いはん点（もらいさび）がついたり、乳白色・黒色・虹色などに変色したり、お湯に白い浮遊物（ミネラル成分）が混じったりすることがある場合は、水に本来含まれるミネラル成分の作用による水垢です。内容器自体の変色や腐食ではありません。衛生上問題ありませんが、汚れが目立ってきましたら定期的にお手入れしてください。

1. ケトルに水をMAX(1.0L)まで入れ、クエン酸(15g程度)を入れてよくかき混ぜる。
2. ふたを取り付けて沸とうさせ、その後、約1時間放置する。
お湯を捨て、水でよくすすぐ。
3. においが気になる場合は、水のみを入れて再沸とうさせ、すすぎ洗いをしてください。

仕様

製品名	温調ドリップケトル
最大容量	1.0L
重量	約 1.1kg
外形寸法	約W267×H219×D240(mm)
コードの長さ	約 1.2m
原産国	中国

故障かな? と思ったら

状態	考えられる原因	対策
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグをしっかりとコンセントに差し込んでください。
加熱が中断し、電源レートの表示部に「Err」表示が点灯する	ケトル本体に水が300mlを下回っている	電源プラグを外し、ケトル本体に水を入れ、本体の温度が下がるまで待ってから再度電源プラグを差し込んでください。
	温度センサーに異常が生じた	製品の故障の可能性があります。すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、サービスセンターへお問い合わせください。(→P14)
加熱できない	ケトル本体が電源プレートに正しく載せていない	本体を電源プレートに正しく載せてください。
	水温より設定したい温度が低い	水温より高い温度を設定してください。
使用后、台座に水滴がつく	冷えた蒸気が水滴になり、付着する場合があります	
注ぎ口からお湯があふれる	満水表示 (MAX) 以上に水を入れた	水を満水表示 (MAX) 以下に減らしてください。
	水以外のものを入れた	水以外のものを入れて沸かささないでください。
本体内側にはん点がついたり、乳白色・黒色・虹色などに変色したり、お湯に白い浮遊物が混じったりすることがある	水に本来含まれるミネラル成分の作用によるもの	本体内部をクエン酸洗浄してください。(→P12)
30分間の保温は早々に終了した	保温中にケトル本体が電源プレートから2分以上離れた状態になっている	保温中にケトル本体を電源プレートから2分以上離さないでください。

保証とアフターサービス

お買い上げいただき誠にありがとうございました。

日本国内で、保証期間内に取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従って正常な状態で使用していて故障した場合には、本書の記載内容に基づいて無償修理いたします。(付属品/アクセサリは除く)

保証期間内に故障した場合は、お買い上げのご販売店にご依頼ください。保証期間中でも次のような場合には有償修理となります。

- 1、誤った使用方法、取り扱い上の不注意によって生じた損傷や故障。
- 2、不当な修理や改造によって生じた損傷や故障。
- 3、火災、地震、水害、落雷その他天災地変、ガス害、塩害、公害や異常電圧などによって生じた損傷や故障。
- 4、お買い上げ後の移動や輸送によって生じた損傷や故障。
- 5、本書の紛失、所定事項の未記入または字句を書き換えられた場合。

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
この保証書は、本製品の故障に対する無償修理または交換を保証するものであって、本製品の使用または使用不能によって生じた損害に対して当社が責任を負うものではありません。

この保証書は、明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

本製品の安全確認を怠ったことによって生じ付随的な損害(事業の利益の損害・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
火災・地震・第三者の行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じ損害に関して、当社は一切責任を負いません。

型式		
保証期間	お買い上げより一年	
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話番号	

お客様ご相談窓口

HAGOOGI サービスセンター

✉ service@hagoogi.com

LINE @683cahvl

🌐 www.hagoogi.com



LINEのQRコード

受付時間 月~金 午前9時~午後5時(土・日・祝、弊社休業日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

サービスセンターは、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。